

キャラクター名  
緑谷七海

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	高校生
	モルフェウス					
オプション			年齢	16	性別	女
覚醒	憤怒	衝動	殺戮	初期侵食率	35%	
出自	親の理解	経験	裏切られた	邂逅	貸し	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	3	0	0			3	行動値	14
感覚	3	1	0	2		6	(非装備時)	14
精神	1	0	0	1		2	戦闘移動	19
社会	1	0	0			1	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC	1		交渉		
回避	1		知覚	1		意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
携帯型断罪機構 (アドナイ・ツァバト)	射撃	6r+4		+5		《ハンドレッドガンズ》で作成。100%未満時
【執行形態/断罪の雷霆】	射撃	6r+4		+6		《ハンドレッドガンズ》で作成。100%以上時
【執行形態/断罪の雷霆】	射撃	8r+6		+7(+3D10)		単体射撃。《ミカヅチ》込はシナリオ2回
【モード/リアル・クラウド】	射撃	9r+8		+10(+3D10)		単体射撃。《ミカヅチ》込シナリオ3回

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部	
思い出の一品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
【Dロイス】雷帝P		N		
青海遙	P 友情	N 不安		
黒河華怜	P 友情	N 憎悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4    残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
C:ブラックドッグ	2	2	メジャー					
効果: 技能: シンドローム。クリティカル値を-LVする(下限値7)。								
アームズリンク	2	2	メジャー	武器		対決		
効果: 技能: 〈白兵〉〈射撃〉。このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+LV個する。								
アタックプログラム	1	2	メジャー	武器		対決		
効果: 技能: 〈白兵〉〈射撃〉。このエフェクトを組み合わせた攻撃の命中判定の達成値を+[LV*2]する。								
雷光撃	1	2	メジャー			対決		
効果: このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を+[LV*2]する。								
ミカヅチ	2	4	メジャー			対決	Dロイス	
効果: このエフェクトを組み合わせた攻撃のダメージロールに+3Dする。1シナリオにLV回まで。								
ハンドレッドガンズ	1	3	マイナー	至近	自身	自動成功		
効果: シーンの間、武器を作成し、装備する。(データは下記)								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「どーもどーも。「勝利を呼ぶ断罪者(ハニエル)」こと緑谷七海っす」「いやいやー、エリートだなんてそんな大げさなもんじゃねーですよ」「冥土送りのシビれる一撃、とくと味わうじゃんよ！」

UGN日本支部所属のエージェント。どことなく掴みどころのない雰囲気を持ち主で、独特の敬語で話す。普段は日本支部近くの高校に通っているが、有事とあらば授業中でもすぐさま出勤し、常に前線に立ってジャームと戦っている。その実力は折り紙付きで、元はUGN宮ノ代北支部に所属していたところを日本支部へ招致されたという経歴がある。出身は宮ノ代市北部であり、青海遙・黒河華怜という幼馴染がいる。

7歳の頃、遙の家族と家族ぐるみで出かけた帰りにジャームに襲われるも遙に庇われたことで幸いにも無傷に終わる。しかし、代わりに遙とその家族は重傷を負っており、それを目の当たりにした激情のままにシネグイドの力に目覚めた。さらにその後、遙の家族は死亡し、一命を取り留めた遙自身も治療にあたった医師——黒河華怜の父の手によって人体実験の被検体にされていたことを知る。これをきっかけに、七海は凶行に走った華怜の父とそれを止められなかった華怜に対する強い憎しみに目覚めることになる。FHのエージェントとなった華怜と初めて対峙したときは、内心でショックを受けつつもそれを振り払い、彼女を殺すことを決意している。

彼女のモルフェウス能力を以てしか生成できない独特の電気銃、【携帯型断罪機構(アドナイ・ツァバト)】を武器に戦う。さらに、相手によってその都度機構を最適な形状に組み替えることで、常に最適な範囲で最大限の攻撃性能を発揮することができる。

=====